

(別紙様式1)

## あいさつ運動の好事例

和気町立本荘小学校

児童数295名 教職員数38名

### グリーン週間であいさついっぱい！

#### アピールポイント

本校では年に3回、「グリーン週間」と題して、学校をよりよくするために、全校でめあてを決めて頑張る週間を設けています。本年度1学期は、9つある委員会が日替わりで協力して、朝大勢で校門に立ち「あいさついっぱい運動」として大きな声で挨拶をしました。声の小さかった登校班も、高学年に挨拶され、気持ちのよい挨拶ができるようになってきました。

#### 実際の様子



#### 取組の概要

##### ■ 児童生徒の実態

本校児童は、素直で友達に優しい児童が多く、外遊びも積極的に行う児童が多い。しかし、朝は元気がない児童が多く、下を向いて挨拶をしたり、小さな声でしかできなかったりする児童がいる。

##### ■ 活動内容

年に3回計画している「グリーン週間」の取り組みの一環として、あいさつ運動を行った。グリーンは、本校の体操服が緑色であることに由来。グリーン週間の活動の中心となる運営集会委員会と共に、8つの委員会が日替わりで校門に立ち、登校してくる児童に率先して挨拶をし、お互いに気持ちよく一日のスタートが切れるよう働きかけた。

##### ■ 取組の参加メンバー

運営集会委員会、他8委員会（飼育、栽培、給食、図書、美化、運動、保健、放送）

##### ■ 成果・効果

運営集会委員会のみで毎週水曜日に校門に立ち、あいさつ運動を通年で行っているが、グリーン週間には他の委員会も加わるため、大勢で元気のよい挨拶をして登校してくる児童を迎えることができた。活動を通して校門3か所に分かれて行う、タスキを肩にかけて行うなど、児童からさらによいアイデアが出てきている。気持ちのよい挨拶を交わすことで、一日を晴れやかな気持ちでスタートすることができた。「あいさつ運動はもうおしまいなの？」という声も終盤では出てきて、あいさつ運動が児童にとって意欲的に活動できるものになっていると感じた。